

対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート								
事務事業名	かかりつけ医等の推進事業						予算事業名	緊急医療体制事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	医療法		
			04	01	02	11	経常経費				
総合計画体系	1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉) 1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実(健康・医療) ③地域医療体制の充実 2地域医療の推進						事業の区分	主要事業			
							担当課係等	健康増進センター 管理係			
	事業期間	継続 (平成29年度～ 年度)									
	【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】 日常の健康管理や少しの体調の変化などについても気軽に相談できる身近な主治医「かかりつけ医」をもつことで、自分自身で健康を管理できる。						【事業開始のきっかけや他市の状況など】 在宅医療、介護連携推進事業について、平成30年4月までに全市町村が取組むことが義務化された。在宅医療を推進するには、「かかりつけ医」の果たす役割は大きい。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】 医師会と連携し「かかりつけ医」について普及啓発を図るための広報活動。 地域医療発展のための講演会開催(定住化自立圏事業)。						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】 市民					
						【事業をとりまく環境の変化】 少子高齢化が進展し、地域包括ケアシステムの構築は急務である。その要である地域医療の推進には、「かかりつけ医」をもつことであり、厚生労働省では平成17年度より「かかりつけ医」を推奨している。					
【令和 2年度 事業内容】 「かかりつけ医」等のチラシ配布。 医師会と連携し病診連携の推進。			【令和 3年度 事業内容】 「かかりつけ医」等のチラシ配布。 医師会と連携し病診連携の推進。			【令和 4年度 事業内容】 「かかりつけ医」等のチラシ配布。 医師会と連携し病診連携の推進。					
■事業費											
財源内訳	国 庫 支 出 金			H30年度		R01年度					
	県 支 出 金	0		0							
	地 方 債 債	0		0							
	そ の 他	0		0							
	一 般 財 源	119		251							
	歳 入 計 (千 円)	119		251							
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)		金額 (千円)							
	11 需用費	119		251							
歳 出 計 (千 円) (A)	119		251								
伸 び 率 (%)			110.92								
備考	総合計画 51 ページ 予算書 97 ページ										

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	チラシ配布数 かかりつけ医についての啓発チラシを年1回、配布する。	枚	目標 19,000.00	19,000.00	19,000.00
			実績 2,000.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00
成果指標	かかりつけ医がいる割合 健康増進計画の評価指標として5年に1回調査 (H29 : 68.3%)	%	目標 70.00	70.00	70.00
			実績 0.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	地域医療の充実のため「かかりつけ医」の推進は重要である。定住化自立圈構想、医師会と連携した対応が必要となるが、市の介入方法を見極めなければならない。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	医師会と行政が連携して推進していくべきである。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	「かかりつけ医」を持つことのメリットを周知する方法については、チラシ配布以外にも検討する必要がある。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	医師会と連携し、ホームページ、広報誌等で周知する方法も検討する必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 傾りは見られない	市民全体に関わることであり、公平である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	医師会と連携し、ホームページ、広報誌等で周知する方法も検討する必要がある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	評価指標（かかりつけ医を持つ人の割合）のアンケート調査が5年に1回のため評価が難しい。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

地域医療の充実には、はじめに「かかりつけ医」の普及啓発を図り、市民の意識を向上させる必要がある。同時に、病診連携、診診連携の体制を強化し、病気になっても市民が安心して暮らせる地域を目指す。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

「かかりつけ医」を持つことで、予防を含め日常の健康管理、適切な診断や医療機関の紹介につながっていくため、医師会と連携し、地域医療を推進していく必要がある。さらに、市内で完結せず、近隣との連携も視野に入れ、地域医療を充実させる必要もある。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

- 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
縮小 休止 廃止・終了

改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画）

「かかりつけ医」の必要性について正しい知識の普及や、かかりつけ医の定着を図るため、市民への啓発活動を継続する。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

- 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革ながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
縮小 休止 廃止・終了

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。